

選択教科である就職支援関連の講義を

pdf データのみのオンデマンド配信で行った場合の事例報告

次郎丸 沢†

†株式会社 OME

キーワード：COVID-19，オンデマンド配信，講義，選択教科

1 はじめに

COVID-19 の流行により，各大学では対面の授業に替わる講義手法の選択に迫られた．手法としては，①同時通信によるオンライン講義と②非同期通信によるオンデマンド配信による講義の2種類に分かれる．

オンライン講義は対面講義と同じく同時通信であるが，机間巡視等が出来ず学生の状況を細かく察知することが難しい．また，オンライン講義は対面授業に比べて細かい質問をしづらいという問題点も指摘されている[1]．

オンデマンド配信による講義は対面授業と異なる非同期通信であるが，Web 教材を使用した場合に IT リテラシの低い学生が対応できない問題点が指摘されている[2]．

筆者は某大学においてオンデマンド配信による講義を担当したが，その状況についてここに報告する．

2 オンデマンド配信による講義

筆者はオンデマンド配信による講義を以下のステップで実施している．

1. 講義資料を準備して公開する．
2. 学生は講義資料を読み課題問題に1週間以内に回答する．講義資料や課題問題に対して質問がある時には，メッセージ機能や課題提出時のコメント欄に記載する．
3. 講義資料公開後1週間で課題問題の回答を締切り，回答の正答率や課題問題の解説を公開する．講義や課題問題に対する質問があっ

た際には，次回の講義資料に返答を記載する．

なお，講義資料はすべて pdf ファイルで統一されており，Web 教材は使用していない．また，動画は学生の通信環境を調査していないことから使用しなかった．

3 オンデマンド配信による講義を行ってみて

オンデマンド配信による講義は執筆現在も引き続き行っているが，ここまで講義を行って初めての所感を利点と欠点に分けて報告する．

3.1 オンデマンド配信による講義の利点

学生の講義資料のアクセスや課題提出日時を見る限り，課題提出締切日にある程度集中する傾向はあるものの，対面講義時の課題提出の状況と大きな差は無かった．対面講義の際にも講義資料や課題解説の資料は公開していたが，資料の公開は学生側の要求によるものであり，この点に関しては特に問題が無かったと思われる．

また，学生がいつ学習しているかの履歴を見ることが出来るため，筆者が学生の学習状況を解析することが出来るようになったことは利点と言える．

3.2 オンデマンド配信による講義の欠点

オンデマンド配信による講義は，準備に時間がかかるのが難点である．元々講義でスライドを使用していたため，スライドは既に手元にあったものの，口頭で伝える内容をすべてスライドに記載しなければならず，また質問をリアルタイムで受

けることが出来ないため、想定される質問には事前にすべてスライドに記載しておかなければならないため、初回の講義の際にはスライドの準備に大変時間がかかった。

また、リアルタイムにインタラクティブな講義が構造上出来ないため、学生の理解度を測る方法が課題問題の正答率から推察するしかない。これまで複数回同じ講義を行ったが、講義ごとに正答率が大きく変わるため、事前に正答率の予想が難しい。

4 まとめと今後の展望

COVID-19 の終息後の講義手法についてはいろいろな議論があるが、そのうちの1つに「対面の講義とオンライン講義またはオンデマンド配信による講義のハイブリッド型の講義形態が今後さらに浸透する」というものがある[3]。国際会議の開催手法でもハイブリッド開催を望む主催者がおり、今後ハイブリッド型に対する対応が求められている。

参考文献

- [1] 高原利幸; 宮里心一. オンライン講義と対面講義における学生の意識比較; Comparison of students' attitude against online and face-to-face lecture. 工学教育研究; KIT progress, 2021, 29: 51-57.
- [2] 黒田知紗; 宮奈剛; 野嶋栄一郎. オンデマンド型 Web 教材を付加した対面授業の開発と評価. 日本教育工学会論文誌, 2005, 28.suppl: 69-72.
- [3] 福永文美夫, et al. < 巻頭言 > WEB 講義と対面講義. 久留米大学コンピュータジャーナル, 2021, 35: 1-1.